

女性企業家ブース

株式会社WATALIS



地元亘理で受け継がれてきた「ふぐろ」の中にお米を入れて感謝の気持ちを手渡す返礼文化を可視化し、震災で失われた地域女性の雇用機会の創出と地域コミュニティの再構築を目的として起業されました。

株式会社ファームステーション



「発酵で楽しい社会を！」を掲げ、岩手県奥州での「米からエタノールとエサ作る地域循環プロジェクト」などのバイオマス事業とクリエティブ事業の2つの分野で事業を展開されています。

株式会社フカコラ美人



気仙沼の大量時に魚を分け振舞う文化「あびす振舞い」を形にし、昔ながらの味を現在のトレンドである「少量・小分け」にリメイクし、小規模事業者が連携し、統一ブランドを作り全国展開を目指されています。

きぼうのたねカンパニー株式会社



「たねをまくことは命をつなぐこと」をモットーに、人と自然をつなぐ未来の農業を創ることを掲げて、福島県二本松市東和地区において農業体験のワークショップ、農産物の販売を行っています。

座談会

引地恵氏（株式会社WATALIS）、酒井里奈氏（株式会社ファームステーション）、岩手佳代子氏（株式会社フカコラ美人）、菅野瑞穂氏（きぼうのたねカンパニー株式会社）の4名の被災地で活躍する女性企業家が、安倍総理を囲み座談会を行いました。



交流ミーティングin東京(「女性活躍」DAY)開催報告

平成28年6月26日(日) 13:00～15:00に
3331 Arts Chiyoda (アーツ千代田 3331) で開催しました！

東日本大震災から5年が経ち、東北では復興に向けた前向きで新たな取組が数多く生まれています。そうした取組に携わる方々に焦点を当て、復興の現状、被災地の「今」をお伝えすることを目的に、交流ミーティングin東京 ～「新しい東北」を創る人々～(「女性活躍」DAY)を開催しました。

同時に開催されたイベントを含め、計約2,300名の皆様にお越しいただきました。

※今回の交流ミーティングの様子は協議会のウェブサイト (http://www.newtohoku.org/works_detail_014) でも紹介しています。

講演

被災3県で活躍する女性たちの取組や活動内容について、現地で精力的に活動する3名の女性にお越しいただき、それぞれご講演いただきました。

【講演者】

神谷未生氏(一般社団法人おらが大槌夢広場事務局長)
兼子佳恵氏(NPO法人石巻復興支援ネットワーク代表理事)
日塔マキ氏(女子の暮らしの研究所代表)

< 講演 >

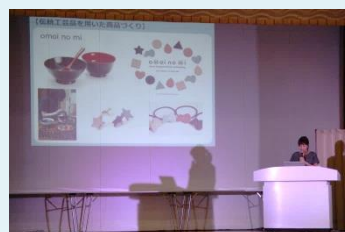


～参加者の声～

自分達の復興活動を見つめ直す機会になりました。聞いたお話を今後の活動に活かしたいと思いました。

～参加者の声～

災害時の被災地支援のあり方について考えなければならなと感じた。



パネルディスカッション

若松謙維復興副大臣の挨拶の後、復興において女性が活動することの重要性や、全国の地域活性化に伴う女性の活躍について、有識者をお招きしてパネルディスカッションを行いました。

【ファシリテーター】

田村太郎氏(一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事)

【パネリスト】

飛田敦子氏(認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸マネージャー)
神谷未生氏(一般社団法人おらが大槌夢広場事務局長)
兼子佳恵氏(NPO法人石巻復興支援ネットワーク代表理事)
日塔マキ氏(女子の暮らしの研究所代表)

～参加者の声～

自分から動き出す女性のエネルギーに感化されました。

< パネルディスカッション >



～参加者の声～

被災地で活動している人たちの思いと悩みと活動に驚きを受けました。来てよかったです。

～ご協力・ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました～

お問い合わせ

※ 当イベントの開催は、復興庁からみずほ総合研究所へ委託しています。

「東北復興月間」 イベント事務局(みずほ総合研究所) E-mail: nt-info@mizuho-ri.co.jp TEL: 03-3591-8773 (平日9:30～17:30)

主催：復興庁

